

学習の指針（シラバス）					
教科名	国語	実施学年	2年	週時間	4時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話すことができる。 ・相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して今までに考えつかなかった考えに触れるなど、自分の考えを広げることができる。 ・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫することができる。 ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くことができる。 ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み内容の理解に役立てることができる。 ・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することができる。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
使用教科書 副教材等	教科書：伝え合う言葉 中学国語（教育出版） 副教材：よくわかる国語の学習（明治図書）、単元別漢字2（秀学社）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	虹の足	ビブリオバトル	ノート プリント 単元テスト 漢字テスト 期末テスト
	5	近代の短歌 タオル		
	6	夏の葬列 日本の花火の楽しみ		
	7	話し言葉と書き言葉 活用のない自立語 水の山 富士山		
	9	漢字の多義性		
	10	平家物語 敦盛の最期		
後期	11	枕草子・徒然草	ビブリオバトル	ノート プリント 単元テスト 漢字テスト 期末テスト
	12	ガイアの知性 孔子の言葉		
	1	書写 豚		
	2	敬語 活用のある自立語		
	3	類義語・対義語・多義語 同音語 走れメロス		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	漢字の読み書きや熟語の構成、古文単語、漢文の返り点など、問題に正しく解答できるように学んだ知識を活用する。それぞれの問題に対してどの知識を活用すればよいのか見極める。	☆単元テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワーク ☆授業中の発言、参加状況
思考・判断・表現	相手や目的、意図に応じ、話したり、聞いたり話し合うことで、自分の考えを明確にしようとしている。スピーチや授業中の発言、グループワークへの参加などで判断する。	☆単元テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワーク ・スピーチ ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習に向かう態度	様々な形態の文章や言語事項等に対し、自分なりの解釈を持つことや、他者の考えに対して意見を持つこと。自らの考えを更に広げたり、深めたりしている。	・家庭学習の取り組み (ノートの下段) ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ノートなどの提出物に関する評価については、別紙で詳細を説明します。

学習の指針（シラバス）					
教科名	数学	実施学年	2年	週時間	3時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数についての理解を一層深め、文字式による表現やその処理のしかたを理解している。また、それらを具体的な数量やその関係の考察および問題解決に活用できる。 ・平面図形や空間図形の基礎的な概念や性質について理解している。また、図形に対する直観的な見方や考え方および図形の性質を、数学的な推論の方法によって考察する過程を通して、論理的に考察し表現することができる。 ・具体的な事象から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数関係を見出し、その関係を考察することができる。
使用教科書 副教材	教科書：新しい数学2（東京書籍） 副教材：数学の学習ノート2年（正進社）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	1章 式の計算 1節 式の計算	単元テスト(5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発表内容 ・単元テスト
	5	2節 文字式の利用		
	6	2章 連立次方程式 1節 連立方程式とその解き方	単元テスト(6、7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢 ・学び合い、教え合い活動への取り組み状況 ・課題やレポートへの取り組み
	7	2節 連立方程式の利用		
	9	3章 1次関数 1節 1次関数	期末テスト(9月)	
	10	2節 1次関数の性質と調べ方		
		3節 2元1次方程式と1次関数		
		4節 1次関数の利用		
後期	11	4章 平行と合同 1節 説明の仕組み	単元テスト(11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発表内容 ・単元、学年末テスト及びテスト直しの内容
	12	2節 平行線と角		
		3節 合同な図形	単元テスト(1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢 ・学び合い、教え合い活動への取り組み状況 ・課題やレポートへの取り組み
	1	5章 三角形と四角形 1節 三角形		
	2	2節 平行四辺形	学年末テスト(2月)	
		6章 確率 1節 確率		
	3	2節 確率による説明		
		7章 データの比較 1節 四分位範囲と箱ひげ図		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などに関する基礎的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解して、知識を身につけている。 ・正しい手順で式の計算を処理できるとともに、連立二元一次方程式を解くことができる。 ・図形の性質を理解し、性質を論理的に確かめることができる。 ・関数の関係を見出し、的確に表現できる。 ・四分位範囲と箱ひげ図を理解し、適切に表現できる。 	テスト
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての知識や技能を活用し、考えを見出したり、深めたり、論理的に考察できる。 ・自分の考えをわかりやすくまとめ、それを的確に表現できる。 	テスト
主体的に 学習に 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけることに向けて、粘り強く取り組んでいる。 ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。 ・課題やレポートに対して取り組んでいる。 	授業に取り組む姿勢☆ 授業の振り返り☆ 学び合い・教え合い活動への取り組み状況☆ テスト☆ 課題への取り組み状況

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ノートなどの提出物に関する評価については、別紙で詳細を説明します。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

9点⇒「5」 8点⇒「4」 5～7点⇒「3」 4点⇒「2」 3点⇒「1」

学習の指針（シラバス）					
教科名	理科	実施学年	2年	週時間	4時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学変化についての観察・実験を通して、物質の成り立ちや化学変化と物質の質量のことを理解するとともに化学変化における物質の変化の様子や量的な関係を見出して表現することができる。 ・ 化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 ・ 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら理解するとともに、実験・観察を通して、つくりと働きについての規則性や関係性を表現することができる。 ・ 生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 ・ 電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、理解するとともにその結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現することができる。 ・ 電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 ・ 身近な気象の観察、実験などを通して、気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解するとともに天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現することができる。 ・ 気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。
使用教科書 副教材等	教科書：未来へ広がるサイエンス2（啓林館） 副教材：理科の自主学習2年（新学社・ノート付き）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4 5 6 7	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と熱の出入り 4章 化学変化と物質の質量 単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物をつくる細胞		ノート プリント 単元テスト 実験レポート 期末テスト
前期	9 10	1章 生物をつくる細胞（続） 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき	自由研究は夏休み明け 1回目の授業で提出	ノート プリント 単元テスト

後期	11 12	単元3 電流とその利用 1章 電流と回路 2章 電流と磁界 3章 電流の正体		実験レポート 期末テスト 自由研究
後期	1 2 3	単元4 気象のしくみと天気の変化 1章 気象観測 2章 気圧と風 3章 天気の変化 4章 日本の気象		ノート プリント 単元テスト 実験レポート 学年末テスト

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における自然現象や事物について、基本的な概念や原理・法則を理解し正しく活用することができる。 ・観察や実験の基本的な技能が身についているか、丁寧に観察できているか、器具を適切に利用することができるかを実験の様子やテストの結果から判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> *ノート、プリント ☆実験レポート *定期テスト(知識を問う問題) *実力テスト ☆授業中の発言・参加状況 ☆単元テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の中に課題を見出し、目的意識をもって観察や実験を行い、事象や結果を分析して自分の言葉で表現することができる。 ・実験や観察からわかることを正確にまとめているか、理科学的な見方・考え方ができているか、まとめたことを自分の言葉で表現・伝達することができるかを考察・まとめの時間、テストの結果から判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> *ノート、プリント ☆実験レポート *定期テスト(思考力を問う問題) *実力テスト ☆授業中の発言・参加状況 ☆単元テスト
主体的に学習に向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に積極的に参加し、自然の事物・現象を理科学的な見方考え方で探究する技能を身につけている。 ・授業への取り組み方(挙手や発表、授業態度など)、提出物(ワーク、ノート、実験レポートなど)、テストの結果、日常生活に関連付けているかなどから、総合的に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆実験・観察への取り組み ☆思考に関する記述 ☆授業への取り組み *課題に関する提出(ワークとレポート)

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※各項目の評価方法は別途お知らせいたします。

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	2年	週時間	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1) 1学年のときに学習した世界地理の知識を元に、日本の自然環境・自然・産業・世界との関連について、様々な資料から考察し、特徴をつかむことができる。</p> <p>(2) 日本の諸地域を地誌学的に学習することで、各地域の特色について様々な視点から考察し、理解することができる。</p> <p>(3) 南蛮人の来航やペリーの来航など、異国との接触が日本の歴史にどのような影響を与えたかをさまざまな資料から考察し、理解することができる。</p> <p>(4) 江戸時代から明治時代までの歴史的な知識を身につけている。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：新しい社会 地理（東京書籍）、新しい社会 歴史（東京書籍） 地図帳（帝国書院）</p> <p>副教材：よくわかる社会の学習 地理2（明治図書） よくわかる社会の学習 歴史2・3（明治図書） グラフィックワイド歴史（とうほう）</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	評価
前期	4	江戸幕府の成立と対外政策	ノート プリント ワーク 定期テスト 単元テスト
	5	産業の発達と幕府政治の動き 地域調査の手法	
	6	日本の地域的特色と地域区分 日本の諸地域 九州地方 (自然とともに生きる人々の暮らし)	
	7	中国・四国地方 (交通・通信とともに変化する人々の暮らし)	
	9	近畿地方 (都市・農村の変化と人々の暮らし) 中部地方 (活発な産業を支える人々の暮らし)	
	10	関東地方 (さまざまな地域と結びつく人々の暮らし)	

後期	10	関東地方 (さまざまな地域と結びつく人々の暮らし)	ノート プリント ワーク 定期テスト 単元テスト
	11	東北地方 (伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし)	
	12	北海道地方 (雄大な自然とともに生きる人々の暮らし)	
	1	地域の在り方 欧米における近代化の進展	
	2	欧米の進出と日本の開国 明治維新	
	3	日清・日露戦争と近代産業	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について主体的に調べ分かつようとして学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想(選択・判断)したことを社会性生活に活かそうとする態度。ノートやプリントに書いてあることや宿題・課題の取り組み(提出物と単元テスト)。授業中の発言の量も参考にする。	・ノート、プリント ・ワーク ・定期テスト ・単元テスト
社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する。ノートやプリントに書いてあることや定期テストにおける論述問題で判断する。	・ノート、プリント ・定期テスト ・単元テスト
社会的事象についての知識・技能	地理的事象や歴史的事象の知識を身につけている。	・定期テスト ・単元テスト

学習の指針（シラバス）					
教科名	英語	実施学年	2年	週時間	4時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりと話されれば、短い説明の要点をとらえることができる。 ・ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。（～500語程度） ・ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。 ・ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。（～80語程度）
使用教科書 副教材等	教科書：NEW HORIZEN English Course（東京書籍） 副教材：Smile English 2（浜島書店） 英単 Go!（浜島書店）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	Unit 0 My Spring Vacation	夏休み明け に確認 or 単語テスト	授業態度 プリント ワーク 単語テスト 単元テスト 期末テスト パフォーマンステスト
	5	Unit 1 What can we experience on a trip?		
	6	Unit 2 What is local food?		
	7	Unit 3 What kind of job are you interested in?		
	9	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food		
	10	Unit 4 What is important in a homestay?		
		Unit 5 What design is good for everyone?		
後期	11	Unit 6 How can we make a good presentation?	冬休み明け に確認 or 単語テスト	授業態度 プリント ワーク 単語テスト 単元テスト 期末テスト パフォーマンステスト
	12	Stage Activity 2 My School and School Life		
	1	Unit 7		
	2	What are World Heritage sites and their problems?		
	3	Stage Activity 3 Let's Have a Discussion		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	新出の文法事項を用いた文の意味を理解し、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を読む・話す・書く技能を身につけている。	・ 単元・ 期末テスト ☆授業内での課題 ・ プリントやワーク等 ☆パフォーマンステスト
思考・判断・表現	・ まとまりのある文章を読んで、話の概要を捉える。 ・ 自分のことをよく知ってもらうために、日常的な話題や海外の文化などについて、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いたり・話したりすることができる。	・ 単元・ 期末テスト ☆授業内での課題 ・ プリントやワーク等 ☆パフォーマンステスト
主体的に学習に向かう態度	自分のことをよく知ってもらうために、日常的な話題や海外の文化について、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に英語を用いて、まとまりのある話をしようとしたり、書いたりすることができる。	・ ワークやノートの取り組み ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽	実施学年	2年	週時間	1時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

学習の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：教育芸術社</p> <p>副教材：音楽ファイル、歌声ファイル</p>

2 学習計画及び評価

学期	月	学習内容	評価
前期	4	新しい仲間と明るい歌声を響かせる	学習カード 実技テスト
	5	「学年合唱」	
	6	楽器の音色や楽曲の構成を聴き取る 「フーガ」ト短調	学習カード ワークシート
	7	曲の良さを探る 「学級合唱」	学習カード 実技テスト
	9	より質の高い合唱の追求	学習カード
後期	10	「学級合唱」	実技テスト
	11	交響曲を味わう 「交響曲第5番」ハ短調	学習カード ワークシート
	12	歌唱力をつける 「学年合唱」	学習カード 実技テスト
	1	総合芸術を知る	ワークシート
	2	歌舞伎「勧進帳」 歌劇「アイーダ」	
	3	表情豊かな表現の工夫 「学年合唱」	学習カード 実技テスト

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。・合唱においてパートの役割を認識し、全体の響きやバランスを考えて歌唱している。	学習カード 実技テスト 楽譜
思考力、 判断力、 表現力等	<ul style="list-style-type: none">・音や音楽の良さを感じ取り、それらを音楽活動の中で工夫ようとしている。・音楽の良さや美しさについて、音楽的要素を用いて説明できる。また、楽曲構成について文章や言葉で表現できる。・音楽の歴史的・文化的背景と共に様々な音楽の固有の価値を理解し、主体的に音楽を聴き取っている。	学習カード 実技テスト ワークシート
学びに向かう 力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">・音楽に親しみ、音楽活動を積極的に行っている。・意欲的に歌唱・演奏に取り組んだ。・集中して鑑賞しようとしている。	学習カード 授業の参加状況 ワークシート

学習の指針（シラバス）

教科名	美術	実施学年	2年	週時間	1 時間
-----	----	------	----	-----	------

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>美術2・3(開隆堂出版)</p> <p>アクリル絵の具 クロッキー帳 絵画素材 デザイン素材 工芸素材</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	ガイダンス	アクションペインティング、表現の多様性	<p>作品</p> <p>クロッキー帳</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>ストーリーボード</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>制作中の態度</p> <p>材料の工夫</p>
	5	「光の世界 光をつかまえる」	構図、統合、単純化、色彩	
		「私が見つめた風景」	写真、構図、光と影	
	6	「明かりと光」	風景画、絵画	
		「～ステンドグラス風作品をつくろう～」	デザイン	
	7	「思いを伝える」ポスターを	ポスター、視覚伝達デザイン	
	9	作ろう 「造形表現実験」	材料との出会い、テーマに合わせた表現の多様性	
後期	11	「皮革に刻む用と美の調和」	レリーフ、道具の扱い	
	12	「郷土の美術」	拡散思考、収束思考 レポート	

1	「透明な心の世界(スクラッチアート)」	ニードルの扱い、地と図のバランス 密度とストローク	
2	「印象派の表現の広がり」 「物語だから動かしたい」	鑑賞 映像、動画編集	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分独自のアイデアが作品に反映されているか ・作品の仕上げが丁寧に美しくできているか ・材料や道具の特性を理解し、適切な使用ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の出来ばえ(形、色彩、仕上げの美しさ) ・道具の使い方
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解し、アイデアをまとめることができているか ・作品のよさや制作意図を感じることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・ストーリーボード(制作意図) ・道具・材料の工夫 ・鑑賞文の内容と量
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(制作に集中して取り組むことができているか) ・制作に必要な自分の資料を用意することができているか ・提出物(完成したもの)を期限内に提出することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・自己評価シート

学習の指針（シラバス）

教科名	技術	実施学年	2年	週時間	2時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するためにすすんで実践することができる。 生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫創造できる。 生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けることができる。 生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解できる。
使用教科書 副教材等	教科書：技術分野(開隆堂) 副教材：ハンドノート技術分野(正進社)、ハンディ防災ダイナモラジオ(アーテック)

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	評価
4 5 6 7 9 10	私たちの生活とエネルギー変換 電気エネルギーの利用 エネルギー変換の実際 ◇ハンディ防災ダイナモラジオ製作 ・練習用はんだ付け ・ラジオ基板のはんだ付け ・組み立て、仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換について、なぜ学ぶのかを考える。 エネルギーの種類、発電の種類などを知り、その長所や短所などを話し合い、知識を深める。 電気エネルギーの利用されている場所や他のエネルギーに変換されている場面を考えて、その利点や問題点などを話し合い、知識を深める。 回路図を読み取り、部品についての知識を深める。また、機械を安全に取り扱うことを意識できるようにする。 電子基板に電子部品をはんだ付けする。また、取り付けた電子部品がどのように作用するのかを観察、分析する。 ラジオづくりを通じて、電子部品の役割を理解する。また、丁寧に作業し、自分だけの作品を創り上げる。 	ワーク 実験セット 授業プリント レポート
11 12 1 2 3	エネルギー変換に関する技術の評価・活用 ①社会・環境とのかかわり ②エネルギー変換に関する技術とわたしたち 表計算ソフト 情報の表現と伝達	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換に関するまとめとして、なぜ学ぶ必要があるのかを再び考え、自分の生活に生かせること、できることを考える。 表計算処理と文書処理の違いが分かる。 表計算処理ソフトウェア(Excel)の画面構成が分かる。 四則を使った計算ができる。 関数を使った計算ができる。 	授業プリント レポート Microsoft Excel

3. 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業での反省や感想など、振り返りを行える。 グループでの話し合いで積極的に意見を話して、知識や理解を深めている。 授業規律を守ることができる。 	・振り返りシート ・ワーク ・レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ基板のはんだ付け作業を通して、使用する道具を安全に取り扱い、丁寧に作業を進め、仕上げられている。 決められた作業時間内に作品製作や作業をすすめ、振り返りを次に生かすことができる。 	・振り返りシート ・ワーク ・レポート
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した内容について、自分の生活にどのように生かせるかを考えて考察したり、実験等をして点検をしたり、分析して理解を深めている。 工具の基本的な仕組みを知り安全に作業ができる。 授業で学習した内容が身についている。 	・定期テスト ・技能テスト

学習の指針（シラバス）					
教科名	家庭	実施学年	2年	週時間	2時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的学習的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとすることができる。
使用教科書 副教材等	教科書：技術・家庭 家庭分野（開隆堂） 副教材：技術・家庭 ハンドノート家庭分野（正進社） （気候や食材の状況によって、実習の時期や内容を変更することがあります。）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学 習 内 容	学習活動の流れ・ねらい	備 考	評 価
前 期	4	【オリエンテーション】 ・授業のきまり	・学習目標や学習内容・方法を知る。		
	5	【食生活と自立】 【食事の役割と食習慣】 ・健康と食生活	・自分の食生活を振り返り改善する。 ・食事の役割を理解し、健康に良い食習慣について考えることができる。		
	6	【中学生に必要な栄養を満たす食事】 ・栄養素の働きと 6つの基礎食品群	・食事摂取基準から一日に必要な食品の種類と概量について考える。 ・栄養素にはどのようなものがあるかを知り、種類と働きについて理解する。 ・食品成分表の使い方を知り、食品の栄養的な特徴を調べることができる。		
	7	【さまざまな食品とその選択】 ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択	・生鮮食品と加工食品について理解する。 ・生鮮食品の選択について選び方を考える。 ・加工食品の特徴を理解し、適切に選択することができる。		ハンドノート ワークシート 小テスト 振り返りシート（自己評価） 期末テスト
	9	【調理の計画】	・食品の調理について理解し、計画を立てることができる。		
後 期	10	【日常食の調理】 ・野菜の調理	・身支度をし、安全かつ栄養に気をつけて調理することができる。 ・きゅうりのいろいろな切り方ができる。		
		【エコクッキング】 ・リンゴのコンポート	・廃棄率の意味と計算方法を理解し、リンゴの皮むきをすることができる。		
	11	・おいしさと調理 【献立作り】	・効率よくだしをとり、お吸い物の実習をすることができる。 ・献立の作成方法について理解する。		ハンドノート ワークシート 小テスト 実技テスト 期末テスト
	12	【肉の調理】	・肉の特徴や、調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。		

1	【魚の調理】	・魚の特徴や、調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。		
2	【地域の食文化】	・千葉県食材を生かした献立の作成と調理ができる。		
3	【持続可能な食生活】			

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	☆作品の内容 ☆定期テスト ☆製作中の動き
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして問題を解決する力を身につけている。	☆授業内での課題 ・ワークシート及びハンドノート ・作品の内容 ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習に向かう態度	家族の一員として、生活をより良くしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	・ワークシート及びハンドノート ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み（忘れ物、宿題などを含む）

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）					
教科名	保健体育	実施学年	2年	週時間	3時間

1、学習の目標

学習の目標	<p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：中学校保健体育（大日本図書）</p> <p>副教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）</p>

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	スポーツテスト 体づくり運動（男女）	・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	5	集団行動（男女） マット運動（男子）	・グループ活動	
	6	陸上競技（女子） 陸上競技（男子）		
	7	マット運動（女子） 水泳事故指導（男女） パラスポーツ（男女）	・グループ活動	
	9	ダンス（男女）	・グループ活動	
	10	バレーボール（男子） 柔道（女子）	・グループ活動	
	11	柔道（男子） バレーボール（女子）	・グループ活動	
後期	12	長距離走（男女）	・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	1	サッカー（男子） バスケットボール（女子）	・グループ活動	
	2	サッカー（女子） バスケットボール（男子）	・グループ活動	
	3	ソフトフォームボール（男女）	・グループ活動	

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の方法と結果の活用、運動や練習の原則及び生活における運動の取り入れ方や意義に関する基本的な知識を理解し活かしている。 運動の課題や行い方、戦術をもとに運動を行うことができ、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	・ 期末テスト ☆実技 ☆記録
思考・判断・表現	運動の特性に応じて、自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返り、次の活動に活かすことができる。	・ ノート ☆話し合い活動
主体的に学習に向かう態度	自ら進んで運動の楽しさに触れ全力で運動しようとしている。また、運動の楽しさや喜びを仲間と共有できる。	☆授業への取り組み ☆授業中の発言、参加状況 ・ 家庭学習の取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。